

「富大経済論集」執筆・編集マニュアル

富山大学経済学部編集委員会

I. 編集

編集は編集委員会が行い、編集委員会のもとに資料室が業務を行う。

II. 原稿

1. 提出原稿は完成原稿とする。

2. 原稿の締切は厳守しなければならない。

第1号：5月16日，第2号：10月2日，第3号：12月16日。

(休日の場合はその翌日以降の平日とする。合併号等の特別号を発行する場合は、編集委員会で定めた日とする。)

3. 資料室は、執筆予定に関するアンケート調査と論集及び抜刷の希望部数を確認する。

4. 原稿等の提出先は、資料室とする。

5. 掲載原稿のジャンルは、学術論文、研究ノート、判例評釈および資料等。

6. 原則として、同一号につき1人1編とする。

7. ワープロ原稿の分量は、原則として、和文は1ページが35字×27行として43枚以内、
欧文はA4用紙1枚に27行として30枚以内とし、原稿データを保存したデジタル記憶
媒体(USBメモリ、CD、SDカード、フロッピーディスク等)と印刷原稿を提出する。

手書き原稿の分量は、原則として400字詰原稿用紙100枚以内とする。

8. 注は、脚注としないで、注として最後に載せることが望ましい。

9. キーワードおよび原稿提出年月日を付す。

10. 和文、欧文を問わず、原稿には欧文タイトルと執筆者のローマ字氏名をつける。

11. 和文タイトルのふりがな、共著の場合、共著者の(あれば)所属表記。

12. カラー印刷を希望する場合は、原稿の提出に際して、所定の申請書を提出しなければならない。

また、申請書の提出後、取り消すことはできない。

なお、白黒印刷からカラー印刷への変更によって生じる増額分全額は、個人研究費で負担する。

III. 校正

校正は3校までとし、原則として初校は14日以内、2校および3校はそれぞれ7日以内とする。

なお、2校は字句修正のみで内容の変更はできない。3校は2校の確認に限る。新たな修正は一切できない。(編集作業の妨げとなるような大幅な加筆・修正・削除は認めない。)

IV. 編集様式・書式

1. タイトル、サブタイトル、執筆者名、章見出等の位置・ポイントを統一する。

	位置	ポイント
タイトル	中央	14

サブタイトル	中央	12
執筆者名	右寄せ	12
章見出	執筆者の指定による	11 ゴシック
注	執筆者の指定による	7.5

2. 句読点の使用法は、原則として、コンマ(,)・マル(。)方式にする。
3. ページ数は、下中央に「当該号ページ数(通巻ページ数)」とする。

V. 発行部数等・抜刷

1. 論集発行部数は作成時に残部が 20 部となる部数とする。
執筆者は 2 部(合計 3 部)まで追加できる。
2. 執筆者には、抜刷 30 部まで無料で配布する。
それ以上の部数を希望する場合は、個人研究費で負担する。
3. 残部の管理は資料室で行う。

VI. 問合せ・連絡先

富山大学経済学部資料室 内線：6509 E-mail：dsec@eco.u-toyama.ac.jp

平成 30 年 7 月 11 日 修正